

# 認知症あんしん生活実践塾2016

## ～家族で治そう認知症～

### 実施報告書



主催 認知症ケア研究会 in 関西 実行委員会

## 1. 研修会実施要領

### (1) 研修会の目的

現在、わが国は国民の 4 人に 1 人が 65 歳以上という超高齢社会を迎えており、この高齢化の進展とともに、認知症高齢者が大幅に増加してきており、近年、重大な問題となっております。

そのような状況の中、国際医療福祉大学大学院 竹内孝仁教授の提唱する「認知症を治すケア」を広く一般市民の方々に周知していただき、在宅で認知症の方を介護するご家族の支援や認知症となった方々がいつまでも住み慣れた在宅で生活ができるよう、「認知症あんしん生活実践塾 2016」を開催いたしました。

### (2) 実施日時

平成 28 年 8 月 28 日 (日) 13:00~17:00 (12:00 開場)

### (3) 実施会場

川西市みつなかホール

兵庫県川西市小花 2 丁目 7 番 2 号

### (4) 参加者

358 名 (家族介護者、一般、高齢者福祉関係者、学生等) 定員 400 名

## 2. 研修会内容

### (1) 研修カリキュラム

12:00 開場

13:00 開会挨拶 実行委員 株式会社ポラリス 森 剛士

13:05 講演・1 部 認知症を治すケア【その理論と実践】

講師 国際医療福祉大学大学院 竹内孝仁 教授

14:35 休憩

14:55 講演・2 部 シンポジウム

「家族で治そう認知症—各地からの報告—」

座長 順天堂大学 藤尾祐子 先生

15:00 報告 1: 選ばれる施設・地域作りを目指して

～二戸地区認知症あんしん生活実践塾の実践～

パネリスト: 小保内文彦 様

所属: 社会福祉法人いつ星会 デイサービスセンターおからぎ

15:20 報告 2: 小林市におけるあんしん生活実践塾の取り組みについて  
～個別支援から地域支援への展開～  
パネリスト: 川俣幸治 様  
所属: 小林市地域包括支援センター (小林市社会福祉協議会)

15:40 報告 3: 当事者と塾生からのお話  
パネリスト: 西川忠男 様 塾生: 斎藤やす子 様  
所属: 小林市立病院

15:50 会場準備

16:00 パネリストと会場を交えてのディスカッション

16:55 閉会挨拶 実行委員 株式会社ポラリス 森 剛士

17:00 研修会終了

## (2) 研修内容

- ① 講演・1部 認知症を治すケア【その理論と実践】  
竹内孝仁教授より、認知症が発症するメカニズム、また「水分、食事、運動、排泄」の4つの基本ケアを中心に認知症は治るとご講演いただく。
- ② 講演・2部 シンポジウム  
施設、行政（地域包括支援センター）の立場から、あんしん塾を実施することにより地域の認知症介護者や介護事業所への支援についての取組みの説明がある。（別紙パワーポイント資料参照）そして、当事者様と塾生からのお話が報告された。
- ③ 会場を交えてディスカッション  
会場の参加者からのご質問が途絶えることがなく非常に活発な意見交換が行えた。ご質問内容としては、具体的な水分の摂り方や工夫、また認知症の薬について、今後の介護保険の在り方等があった。



講演・1部 認知症を治すケア



講演・2部 シンポジウム



パネルディスカッション



パネルディスカッション



パネルディスカッション



パネルディスカッション



会場のご様子



会場のご様子

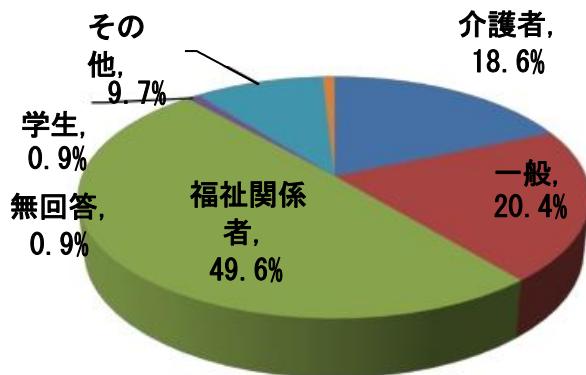
### 3. アンケート結果

#### (1) アンケート回答者

アンケート回答者 113名 回答率 31.6%

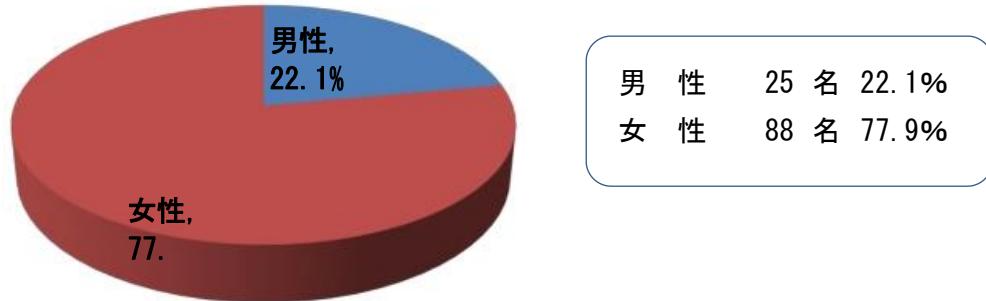
#### (2) アンケート結果

##### ① 参加者属性

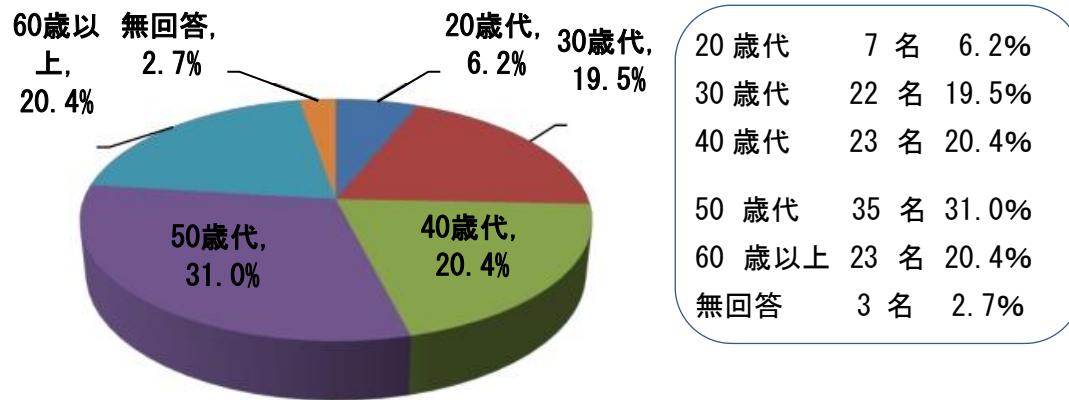


属性	名	割合
介護者	21名	18.6%
一般	23名	20.4%
福祉関係者	56名	49.6%
学生	1名	0.9%
その他	11名	9.7%
無回答	1名	0.9%

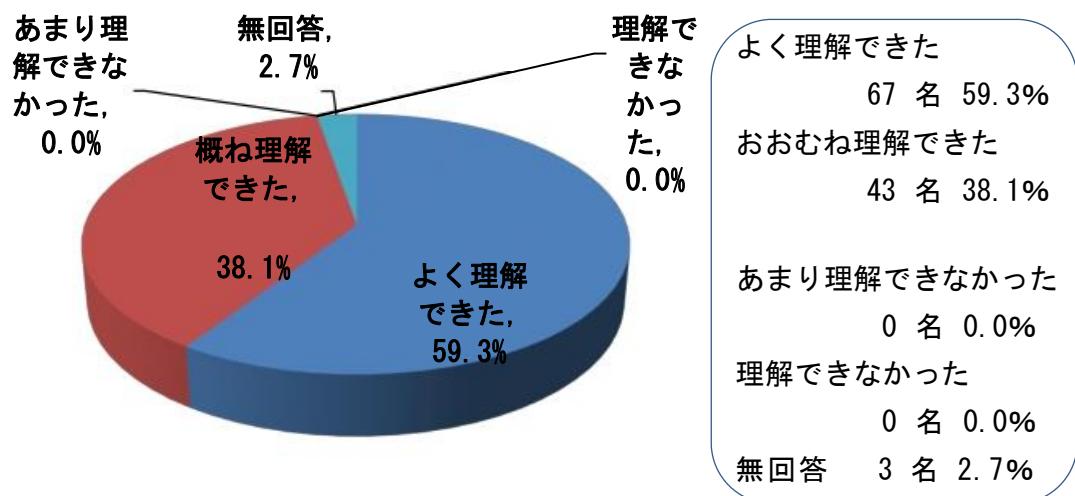
## ② 参加者性別



## ③ 参加者年齢



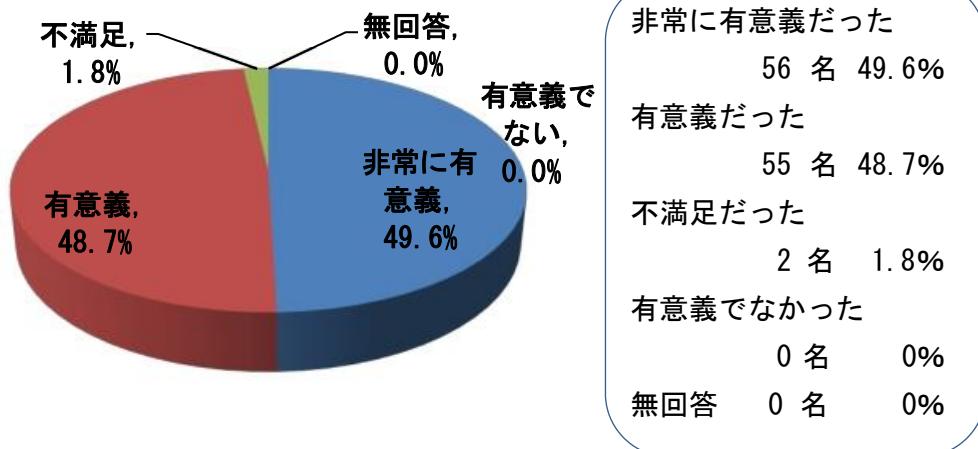
## ④ 本日の研修内容についてご理解できましたか？



### 【ご意見】

- ・水分でこんなに違うことに驚いた。
- ・水分補給の重要性と生活の質を上げる大切さが分かった。
- ・これまでセミナーに数年参加して、脳に原因があると思い込みがあり混乱しそう。
- ・もう少し理論部分が聞きたかった。事例や当事者の参加はわかりやすかった。
- ・認知症に対する考えが変わり、改めて考えさせられた。
- ・先生の理論を基本に7年程前から取り組んでいる。改めて理解が深まった。
- ・質問に丁寧に答えて下さり、ありがとうございました。
- ・実践してみたい。
- ・水分補給で認知症が治ったことは半信半疑です。
- ・図書館で本を見つけ、内容を理解したく参加した。
- ・認知症は薬で治らず、4つの取組、実践で治ることを納得した。
- ・生理現象を正常に保ち治す認知症への実践的な取り組みを理解できた。
- ・体験者が出席されて、臨場感あり空論ではないと思った。
- ・竹内先生の説明が分かりやすく理解できた。今後仕事に役立てたい。
- ・報告など分かりやすかった。
- ・母親が夜何回も起きて睡眠時間が短い。水不足が分かった。
- ・水の大切さは十分知っているが、実践例を聞いて確信できた。
- ・当事者の話を初めて聞いた。竹内先生のインタビューに取組の結果が良く分かった。

### ⑤ 本日の研修内容は、今後、ご家族の介護、仕事、認知症予防において有意義でしたか？

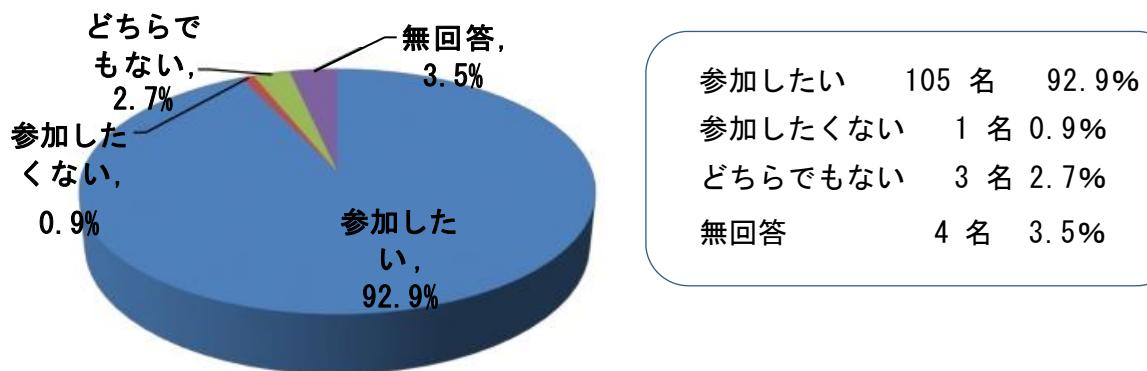


### 【ご意見】

- ・本人に習慣づけるのが問題。

- ・ 本を読んで勉強、あんしん塾への参加の意欲がわいた。
- ・ 当日、質問がしづらかったので、事前アンケート等の準備があればよかったです。
- ・ できる限り実践したいが特有の問題があり簡単にはいかない(独居・脳梗塞後遺症・双極性障害)。しかし希望は増した。
- ・ 地域で広げていく。
- ・ まず施設内で勉強会をしていきます。
- ・ 有意義でした。ありがとうございました。
- ・ 介護、医療の国家予算も多大な中で、本人の為にも全国で取り組むべし。
- ・ 実践的な行動が必要であると強く感じました。
- ・ 認知症は治る病気という考え方方に驚いた。4つの考え方ケアを母にしてあげたい。
- ・ 水分提供・食事・排泄に関して一日のケアだけでなく毎日の継続で改善したい。他職員にも勧めたい。
- ・ 母の認知症に悩み参加。水が大事だと母に勧めたい。
- ・ 初めての参加で良かった。

#### ⑥ また、このような研修会にご参加したいですか？



#### 【ご意見】

- ・ 薬局のチラシで知った、もっと宣伝して欲しい。
- ・ 香川県東讃からは遠かった。
- ・ 次は認知症あんしん生活実践塾の実際を学びたい。
- ・ 健康長寿社会に必要な情報、知識を得て、普及させたい。
- ・ 関西でも地域でのあんしん塾の開催を望みます。
- ・ 川西市でもあんしん塾を開催して欲しい。

⑦ 本研修会に関して、ご感想やお気づきの点がございましたらお聞かせ下さい。

【ご意見】

- ・ ホールに着くまでに苦労した、電車の上下に目印か、地図に目印欲しい。
- ・ 認知症においては地域全体の理解が必要。
- ・ 画像(パネル)が暗くて見えにくかった。
- ・ 認知症の方との関わり方に悩んでいたが事例を聞いて不安がやわらいた。
- ・ 利用者様へのかかわり、水分・食事・運動・便通等勉強になった。早速取り組みたい。
- ・ パワーポイントの字がほとんど見えなかった。(R列)
- ・ 認知症が治ると初めて知った。水分の重要性を再認識。西川さんの声が聞けて良かった。
- ・ 理論に基づいて認知症の方の対応について勉強になった。水分・運動・排泄が需要なのを再認識。
- ・ 「認知症は治る病気」今まで聞いたことが無いお話し有難うございました。夫の介護勉強しながらやってみます。
- ・ スライドが見えにくかった。理論を聞くだけより、是非実践に向けたい。希望が持てるのがうれしい。
- ・ 驚きのお話しがたくさんありました。職員として。また親を見る中で役立たせたい。
- ・ これから介護には大切。現状難しいが、少しずつ実行できれば。
- ・ もっと認知症の家族の方にも聞いてほしい。
- ・ 認知症の予防にも効果があるのか?家族への導入の仕方を知りたい。
- ・ 地域で支える体制を作りたいと思った。
- ・ 「認知症は治る」ということから地域の問題へのチャレンジの話を聞き希望を感じた。
- ・ 個別の支援を大切に地域へつなげられる支援をしたい。
- ・ 分かりやすく、もっと詳しく聞かせてほしかった。
- ・ パワリハへのモチベーションが上がった。
- ・ すぐ実践できる4つのポイントを周知して展開していきたい。
- ・ パワーポイントが見えにくく疲れた。行政との連携の方法を知りたい。
- ・ 画面が見えにくかった。
- ・ 地域に導入するために行政が動く事、有志が声を上げていくことが大切。自分としても何が出来るか?
- ・ 是非家族に実践していきたい。
- ・ 地域の人の協力が無いと難しいのかなと。
- ・ 職業のボーダーラインが強く、周りの理解が無ければ実践しにくい。

- ・水分の大切さを知ってもらうため、私の市でも研修をしてほしい。
- ・もう少し理解したく、本を購入し勉強します。
- ・竹内理論・哲学を楽しく学びました。水分のを感じました。
- ・水分と食事と運動の大切さが伝わりました。西川さん長生きしてください。
- ・実際にやってみないと効果について実感がないと思うので、実践塾に参加したい。
- ・竹内理論はまだ知られてないと思います。「治せる」ことをめざしてケアマネージャーを頑張っていきたいです。
- ・理論というにはもっと細かな根拠が必要。単なる経験則である。
- ・西川さんいつまでもお元気で、竹内先生益々ご活躍ください。
- ・パワーポイントの資料も欲しかった。
- ・水分ケアの重要性、継続実践することが認知症改善の近道だと感じた。
- ・施設の職員間で共有したい。
- ・地域の理解を得るため、更なる認知症への理解を深める活動を行っていった。
- ・事務局の方、素晴らしい研修会を開催頂きありがとうございました。
- ・家族(祖母)に水分の大切さを話したい。
- ・パワーポイントが見づらくわからなかった(特に小保内さん発表共に)。
- ・実践者をもっと参加させてください、もっと聞きたいです。
- ・昨年末竹内先生に神戸市で偶然お会いし名刺交換。BS で先生に宮崎県小林市での取組を知ることになり、講演を聞きたく参加。広く伝えたい。
- ・祖母が認知症の為、講演内容を実践したい。今後の仕事にも大変為になり活かしたい。
- ・要介護 4 から支援になった例を聞き目からうろこ。小林市の行政が試みていることにも画期的だと思う。今後も小林市の成果をみていきたい。

## 5. まとめ

研修会の案内については、施設へのチラシ配布 50 箇所、また各研修会等での配布、介護関係のHP掲載、施設、在宅サービス事業所へのFAX送付などにより、研修直前のお申込み者としては、362 名 (400 名定員) であった。実際に研修参加者は、358 名であった。

研修当日の運営や進行については、実行委員にて担当者を明確にし、綿密な打合せを行った結果、初めて使用した会場ではあったが、予想していた開場、退場時の混雑やトラブル、事故なども避けることができ、順調に行うことができた。

アンケート回収については 31.6%の回収率となった。回答結果に対する考察は

次の通りである。まず、研修会参加者は様々な年齢、一般の方々、専門職等、認知症の研修に参加する目的も違い、多様な方々であった。その為、研修内容に対する理解度を懸念していたが、「事例や当事者の参加が分かりやすかった」「4つの取り組み、実践で治ることを納得した」「生理現象を正常に保ち治す認知症への実践的な取り組みを理解できた」等、97.4%の参加者が理解できたとの回答であった。パワーポイントが見えにくいというご意見が多かった。今後対応したい。

今回様々な目的で研修参加している方々に対して、それぞれの介護や仕事に役立つことが出来たかという問い合わせに対し、98.3%が有意義であったとの回答であった。認知症の介護に苦慮している家族に対して、認知症ケアの情報提供を行い、支援したいという本会の目的を実現できたのではないかと考える。

そして、「また、このような研修会に参加したいか?」という問い合わせについては、92.9%の方々が参加したいと回答し、ご意見としては、参加者の地域でもあんしん塾を開催したいなどのご意見が多く聞かれ、あんしん塾の更なる拡大のきっかけとなったのではないかと考える。

認知症になっても安心して地域で暮らし続けられる、また認知症にならない社会作りに貢献できるよう、今回のアンケート結果等をもとに、研修会内容についても更に発展させ、次年度も開催する決意である。

本会の開催に伴い、ご協力いただきました皆さんに心より感謝いたします。

認知症ケア研究会 in 関西 実行委員会